

# 図面の読み方 「再」入門セミナー

## 立体モデルを使いながら、必要な図面ルールを基礎から学ぶ

**会 期** 各回とも 10:00～17:00

**東 京** 2025年 5月22日(木)

**名古屋** 2025年 7月17日(木)

**大 阪** 2025年10月 9日(木)

**東 京** 2026年 2月 2日(月)

**会 場**
**【東 京】** 日本能率協会 研修室 or オンライン配信  
 (東京都 港区 芝公園)

**【大 阪】** 日本能率協会 研修室 or オンライン配信  
 (大阪市 北区 梅田)

**【名古屋】** JRセントラルタワーズ 36F  
 (名古屋市中村区 名駅)

**講 師**
**西村 仁** ジン・コンサルティング 代表  
 生産技術コンサルタント

**参加対象**

- ・開発、設計、製造部門の技術者、アシスタントの方々
- ・資材購買、品質管理、生産管理、営業の担当者
- ・図面の読み方がわからない、図面の読み方を学び直したい、図面を読めるスキルを身につけたいの方々

**参加料 (税込)**

法人会員：56,650円/1名

会 員 外：67,650円/1名

※参加料にはテキスト(資料)費が含まれています。
※昼食の提供はございません。(各自でご用意ください。)
※法人会員ご入会の有無につきましては以下URLにてご確認ください。
<https://www.jma.or.jp/membership/>
※お申し込みページ内参加申込規定を確認・同意のうえお申し込みください。

### 本セミナーのポイント

図面は開発、設計、製造部門の技術者だけのものではなく、資材購買や品質管理、生産管理そしてお客様との窓口である営業まで、モノづくりを支える広い部門での共通言語です。

本セミナーでは、JISに基づく図面のルールを基礎からわかりやすく解説します。もう一度基礎を学び直したい技術系の方々だけでなく、図面を学習したことのない文系出身の方々のご参加をお待ちしています。

### 本セミナーの特徴

- 1) はじめて図面を見る方にもJIS図面ルールを基礎からわかりやすく解説します。
- 2) 図面を見て立体をイメージする方法の習得では、立体モデルを手にしながら演習を踏まえて理解を深めます。
- 3) 図面に盛り込まれた情報の理解では「なぜ」その情報が必要なのかの視点を伝えることで原理、原則を理解します。

### プログラム

10:00～17:00 (昼休憩 12:00～13:00)

#### 1 なぜ図面は必要なのか

- ① 工業製品と工芸品の違いとは
- ② 図面の目的と種類を知ろう

#### 2 立体を1枚の紙にあらわすルールを学ぶ

- ① なぜ立体図がそのまま図面にならないのか
- ② 基本となるモノを見る視点 (第三角法) **個人演習**
- ③ なぜ六面すべてを表さないのか

#### 3 図面から立体をイメージする

- ① 木彫りの考え方をを使って立体をイメージする
- ② いろいろな例で練習しよう **個人演習**

#### 4 寸法表示を読み取る

- ① 図面のサイズと尺度
- ② 線の種類とその使い分け方
- ③ 寸法の読み方、寸法記入のルールを知る
- ④ 直径、半径、面取りなどを表す補助記号の読み方 (φ、R、C...etc.)
- ⑤ 加工方法を指示したきり穴、座ぐりの意味

#### 5 公差を読み取る

- ① なぜ公差は必要なのか
- ② 数値で表す寸法公差
- ③ 一括指示する普通公差
- ④ 記号で表すはめあい公差
- ⑤ 幾何公差の考えを理解する

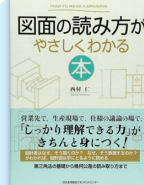
鉛筆、消しゴム  
モノサシを  
ご持参ください

#### 6 表面粗さを読み取る

- ① なぜ表面粗さの指示は必要なのか
- ② 表面粗さ記号はJIS三世代が混在している
- ③ 生地記号は材料素材をそのまま使用する

#### 7 まとめ

#### 8 質疑応答



「図面の読み方が  
やさしくわかる本」

※書籍代はセミナー参加料に含みます

※プログラム変更される場合があります。あらかじめご了承ください。